

～和田山地区地域自治協議会の紹介～

こんにちは！市民協働課です。市内の各地域自治協議会を紹介します。

「青色回転灯装着車パトロール」

安全・安心・定住部会は、地域の皆さんが安心して過ごすことが出来るように、年に二回（夏期・冬期）地域内全域を巡回し、交通安全や防犯、防災の呼びかけを行っています。

今後も地域の犯罪や事故・災害が未然に防止できるよう活動を行っていきます。



このパトロールは、今年で12年目となります

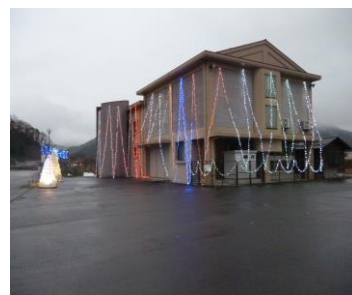
「広報 わだやま夢らんど」

年に3回発行している自治協広報誌は、初回発行から13年が経ちました。広報誌の名称の由来は、地域住民が楽しく生き活きと自治活動やまちづくり活動が進められ、夢のある土地・地域に発展するようという願いを込め「わだやま夢らんど」と名付けました。

これからも様々な事業や各地区のイベントを始め、部会活動を広く紹介していき、地域の皆さんに楽しんでもらえる広報誌づくりを目指してまいります。



- ◆ペットボトルツリーは6～11段（高さ1.5～3m）を9基設置。
- ◆ペットボトルは約2,000本を使用。
- ◆イルミネーション電球は赤・青・緑・ピンクなど3,300球のLEDで飾りました。
- ◆外壁もイルミネーション電球1,800球のLEDを点灯しました。



「ペットボトルツリー制作事業」

地域の住民と子どもたちとの交流を目的として行われたペットボトルツリー事業。自治協の冬の恒例行事となり今年で8年目となりました。

昨年と同様、子供たちと一緒に点灯式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、暗闇の中ライトアップされる幻想的な輝きは大変美しく、時間が経つのを忘れてしまうほどでした。

今年のメッセージ（飾り文字）は、「かがやけ！和田山」です。

「和田山まちづくり計画」

令和2年度から2か年かけて計画の見直しを図るため、第二次まちづくり計画策定検討委員会を立ち上げ、話し合いを進めてまいりました。

令和2年度は住民アンケートを実施し、住民の意見を聞く機会を設けました。令和3年度はアンケート集計結果等をもとに、和田山地区まちづくり計画の改定を進めております。

今後は第二次計画に基づき各事業を展開し、さらに住み良い地域になるよう自治協活動を推進いたします。



事務局の皆さんから「ひとこと」



安積事務長（左側）

和田山地区は和田山駅付近の旧市街地、子育て世代の多い新興住宅地、田畑が広がる農村地に分かれます。当然のことながら、それぞれの地域の課題や要望も違うため、苦慮いたしております。

多くの皆様のご協力を得ながら一歩一歩前に進み、住んで良かったと誰もが思える地域にしたいものです。

森本事務員（右側）

現在行っている「和田山地区まちづくり計画」に基づき、地域のための自治協議会をもっと知っていただけるように情報発信をし、誰もが参加しやすい自治協議会活動となるように、さらに取り組んでいけたらと思います。

市民の皆さまのご理解・ご協力よろしくお願いたします。

和田山地区地域自治協議会

■地域概要

世帯数	2, 170世帯
人口	4, 976人
高齢化率	28, 24 %

(令和4年1月末時点住民基本台帳)

■自治協の概要

「自孝・自行、共助・共創」の精神を持って住民等自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって住み良い地域を形成していくことを目的とし、地域の課題を解決するため、それぞれの団体が個別に活動するだけでなく、連携・協力していくことで、地域全体で意見や知恵を出し合い、汗をかきながらより住みやすい地域づくりを目指します。

■事務局員の紹介

◆事務長 安積 信行

◆事務員 森本 美子

■開業日

月・火・木・金曜日	8:30～17:00
水曜日	9:00～16:00

■事業・イベント（新型コロナ感染拡大防止のため多くの事業が中止となりました）

◆ ゴミ出しサービス・買い物支援サービス

一人暮らし高齢者・高齢者世帯等を対象にサポート事業を実施。

◆ 環境美化啓発看板設置・クリーン作戦

住民一人一人が美しい景観を和田山の魅力として再認識し、更に魅力を高め美しい住環境の中でいきいきと暮らせるよう、ゴミ拾いの実施や河川敷の環境美化を通して住民意識の向上を図っています。

◆ 備品貸し出し

自治協が所有している備品の貸し出しをしています。

草刈機・放送機器・ポップコーン機・綿菓子機・テント等